



岡山県原水協通信

2010年12月13日 No150
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

被爆証言の聞き取りと記録

青年たちが始める

12月11日、岡山市内で青年たちが被爆証言を聞き、映像と音に残す取り組みを行いました。

2010年原水爆禁止世界大会の決議の実践として、PPO(peace piece おかやま)が「被爆証言を聞く会」として行ったもので、中学生から社会人まで11人が参加。岡山市被爆者会の平末豊(79歳)会長からお話を聞きました。参加した青年は「入市被爆のことがよくわかった」と話していました。PPOでは引き続き証言を聞く会を行う計画です。



平末豊さん(中央)にお話をききました

「赤紙」配り反戦を訴え

太平洋戦争開戦69周年記念の12月8日



太平洋戦争開戦69周年の12月8日、「赤紙」ビラを配って「2度と再

び戦争をしないよう平和憲法を守りましょう」「核兵器をなくしましょう」と、12・8平和を守る母親行動が取り组まれました。この日参加したのはジャーナリスト会議、新婦人、県商連、母親連絡会、平和委員会など13団体、35人です。

新婦人の皆さんは、サンタの帽子をかぶって「赤紙」と核兵器廃絶を記載したチラシ配布と核兵器廃絶署名を訴えました。また、各団体の代表が「2度と再び戦争をしないよう」と思いをこめたりレートークで市民に訴えました。津山から参加した民商の井上さんは1人で20筆の核兵器廃絶署名を集めました。

左・宣伝行動が終わってみんなで記念撮影 12・10 天満屋アリス前



県被爆者会に募金贈呈

県内に2306人の被爆者

県原水協は12月10日、岡山県庁で岡山県被爆者会に「被爆者援護・連帯募金」の贈呈を行いました。

県庁会議室で行われた贈呈式には原水協から中尾代表、平井事務局長、村上、豊田事務局長次長が参加。被爆者会の妹尾会長に平和行進や、職場で集めた募金を中尾代表から手渡しました。妹尾会長は「14歳のとき、学徒動員で行った広島駅構内で被爆した。ことし81歳になるが地球上から原爆がなくなることをおねがっている」と挨拶されました。

県内には2306人の手帳所持者(2010/3末現在)があり、平均年齢78.6歳といわれています。



妹尾会長(中央)に被爆者募金をお渡ししました。10/12/10 岡山県庁会議室